大阪大学 共創ラボ @IBARAKI

茨木市内（特に山手台地域）の地域課題を観察し、
産官学民の共創による新価値の創出を目指すプログラム

プログラム概要

座学、ワークショップ、茨木市民への行動観察を通じて社会課題の本質を捉え、これまでにない新しい価値の創出を目指します。大阪大学の様々な研究や茨木市内外のパートナーとの共創を通じて、新価値提案をブラッシュアップ。最終回で VC や金融機関、大手企業の新規事業担当者、茨木市の関係部署の担当者の前でプレゼンをして、新価値を持続的に提供できることを目指します。

プログラム日程 & 会場

第 1 回：10 月　1 日（木）10 時 ～17 時　講義①（着観力、アブダクション、マインドセット）@ 梅田
第 2 回：10 月　8 日（木）10 時 ～17 時　茨木市内における行動観察① @ 茨木
第 3 回：10 月 22 日（木）10 時 ～17 時　講義②（統合、リフレーム、メタ認知）@ 梅田
第 4 回：10 月 29 日（木）10 時 ～17 時　茨木市内における行動観察② @ 茨木
第 5 回：11 月 19 日（木）10 時 ～17 時　講義③（メタファー）& ソリューション開発 @ 梅田
第 6 回：12 月　3 日（木）10 時 ～17 時　ソリューション開発 & プロトタイピング @ 梅田
12 月～ 2 月：オンラインメンタリング期間
最終回：　2 月 19 日（金）13 時 ～17 時　プレゼンテーション @ 茨木

梅田会場：VislabOsaka（グランフロント大阪 タワー C 9F）　茨木会場：茨木市内の会場を後日連絡

募集要項

■申込
下記アドレスもしくは右記 QR コードにアクセスし応募フォームを送信

https://forms.gle/7ZjbohjMVhKCE7qXA

■対象
－地域課題の解決を目指す方、新しい価値の創造を目指す方、様々なステークホルダーとの共創を目指す方
－新しい価値を創出する方法を学びたい学生 、新規事業・戦略企画などの担当者
－プログラム全 7 回に通して参加できる方

■定員：25 名　■プログラム参加費：税込 10 万円
※上記フォーム記入によるエントリーから選考を通じて受講者を決定し、2020 年 9 月 24 日（木）までに受講の可否を連絡します。
※資本金 1000万円以下の企業および個人での参加は特別減免制度があり、税込 1 万円で参加できます。
※大阪大学の教職員および学生の参加費は無料です。
※お支払い方法についてはプログラム中にご連絡します。

■お問合せ
大阪大学共創機構 社学共創部門（担当：中村）Email：c-lab@uic.osaka-u.ac.jp

地域の社会課題から
新しい価値を共創するためのプログラム

大阪大学 共創ラボ @IBARAKI

2020年 10月 ～ 2021年 2月
プログラム参加者募集

主催：大阪大学共創機構　共催：茨木市

プログラムの進め方



座学とワークショップを通して、新価値創造のための方法論として構築された「フォーサイトクリエーション」を共創のための共通言語として習得します。



現地に赴き、フィールドワークから課題を抱える人の行動を観察することによって、新価値創出のための事実と気づきを得ます。

共通言語の習得とフィールドワーク&行動観察を繰り返し課題解決のための新価値の仮説をたてます。

地域の課題を解決するための新価値

新価値の仮説立案とその実証のために大阪大学と茨木市が参加者を様々な面でサポートします。

大阪大学　茨木市

プログラムの特徴①

大学の研究成果の活用や研究活動とのマッチング

リサーチアドミニストレーターが全回参加し、参加者の考える新価値に関連する大阪大学の研究成果や研究活動と随時マッチングを行います。大学の最先端の研究を活用した新価値の創出が可能になります。

プログラムの特徴②

仮説実証のためのプロトタイプ制作のサポート

参加者が考える新価値提案の仮説実証のために、可能性が高いプロジェクトのプロトタイプ制作をサポートします。アイディアの具現化に専門性を有するデザイナーが伴走型のサポートを行います。

プログラムの特徴③

フィールドワーク&行動観察ネットワーク支援

フィールドワーク&行動観察の実施について、プログラム中のネットワーキングをサポートします。通常では得にくいリアルな行動観察ができるように大学と茨木市が参加者にネットワークを提供します。

プログラムの特徴④

茨木市内での実験的活動の支援

プログラム中の茨木市をフィールドとした実験的活動を支援します。新しい価値の提案には実験的な活動が必要不可欠です。実験的な活動の支援をすることで、新しい価値の創出を支援します。

前年度プログラム参加者の声

2019年度は大阪大学と豊中市が連携し、豊中市南部地域を対象とした「大阪大学共創ラボ @TOYONAN」を実施しました。



奥野 健史さん
（会社役員）

大学の研究はなかなか知ることができないが、研究のことを知っている方と身近な関係になれたことが大きかった。このプログラムで、自分がやっている事業や考えていることと、大学の研究を組み合わせることで面白いことができるんじゃないかと繋げて考えられるようになった。新規事業を作りたい人はぜひ参加すべきだと思います。



上平 真衣子さん
（会社員）

会社で地域課題にここまで入り込むことは難しいところがあるが、大阪大学と自治体が連携して場を用意してくれることで、地域の方とすぐに繋がれて何度も話を聞かせてもらえたことは、とてもいい経験でした。
新規事業を考える上でもフォーサイトクリエーションは学びになった。



岡 真裕美さん
（研究員）

最初は研究活動と啓発活動のフィールドが広がればいいなと思っていたが、様々なバックボーンを持つ方から新しいアイディアについて揉んでもらえて、自分一人では思いつかなかったアイディアを得られました。課題を抱える地域に入り込んで、市民のため、地域のために活動することは、やりがいがあり今後の研究活動にも生きてくると感じました。

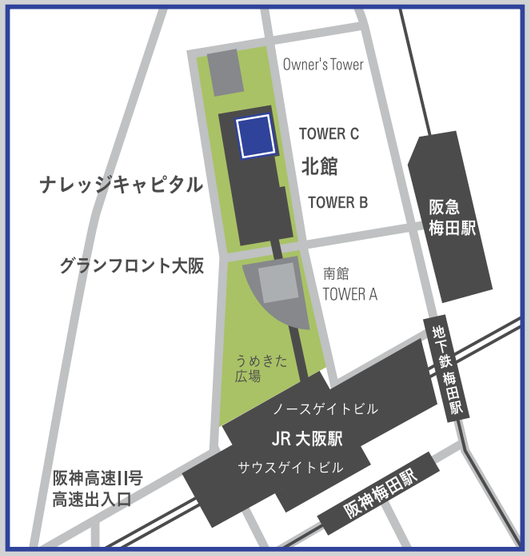


河面 雄樹さん
（学生）

これまで受けてきた中で、1 番支援の手厚い事業創造企画だと思います。良いところは据え置き、改善できるところは手直し、今後とも地域から世界へ伸びる企画を続けていってください。本当にありがとうございました。そしてこれからもよろしくお願いします。

アクセスマップ

Vislab Osaka：グランフロント大阪 北館 タワー C 9F



グランフロント大阪 北館において、下図赤線で囲われているタワーC オフィスエントランスから入場し、右奥右側のエレベーターで 9F まで上がる。エレベーターを出て右に進み、角を右に曲がり、一番奥の左手が Vislab Osaka です。

